

## H-1 サリドマイド製剤の円滑な導入を目指した取り組みとその評価

○松井優子、高堂祥子、前田富美子、石橋律子、柳原あき子

NTT 西日本金沢病院

【目的】サリドマイドは催奇形性があることから TERMS により厳重に管理され、患者登録と処方ごとの手続きが必要である。この研究の目的は、サリドマイド製剤の処方手続きの円滑な導入対策の検討とその評価を行うことである。

【方法】サリドマイド導入前に3回の管理者ミーティングを行い、登録・処方手順、Q&A集、行動チェックシートを作成した。また、看護師の理解を深めるため TERMS による患者向け DVD を視聴した。導入5ヵ月後に同意が得られた看護師45名に自記式アンケート調査を行った。

【結果】DVD を視聴した看護師は、被害状況や被害者の思いを知ることにより、責任を持った管理を行う必要性を感じていた。手順書等を読んだ看護師は、DVD 視聴群 19 名 (95.0%)、視聴なし群 12 名 (48.0%) だった ( $P=0.02$ )。手続きを1人で実施できる看護師は、登録では DVD 視聴群 10 名 (50.0%)、視聴なし群 6 名 (24.0%) ( $P=0.07$ )、処方では DVD 視聴群 13 名 (65.0%)、視聴なし群 5 名 (20.0%) ( $P=0.02$ ) だった。手続きを行う際に手順もしくはチェックシートが役立ったと回答した看護師は、登録では 7 名 (70.0%)、処方では 14 名 (87.5%) だった。

【結論】TERMS による DVD の視聴により看護師の管理の重要性に対する認識が高まり、手順を読む割合が向上し、手続きの習得度が向上したと考える。DVD 視聴、手順書や行動チェックシートの活用は、サリドマイド製剤の円滑な導入に有効である。